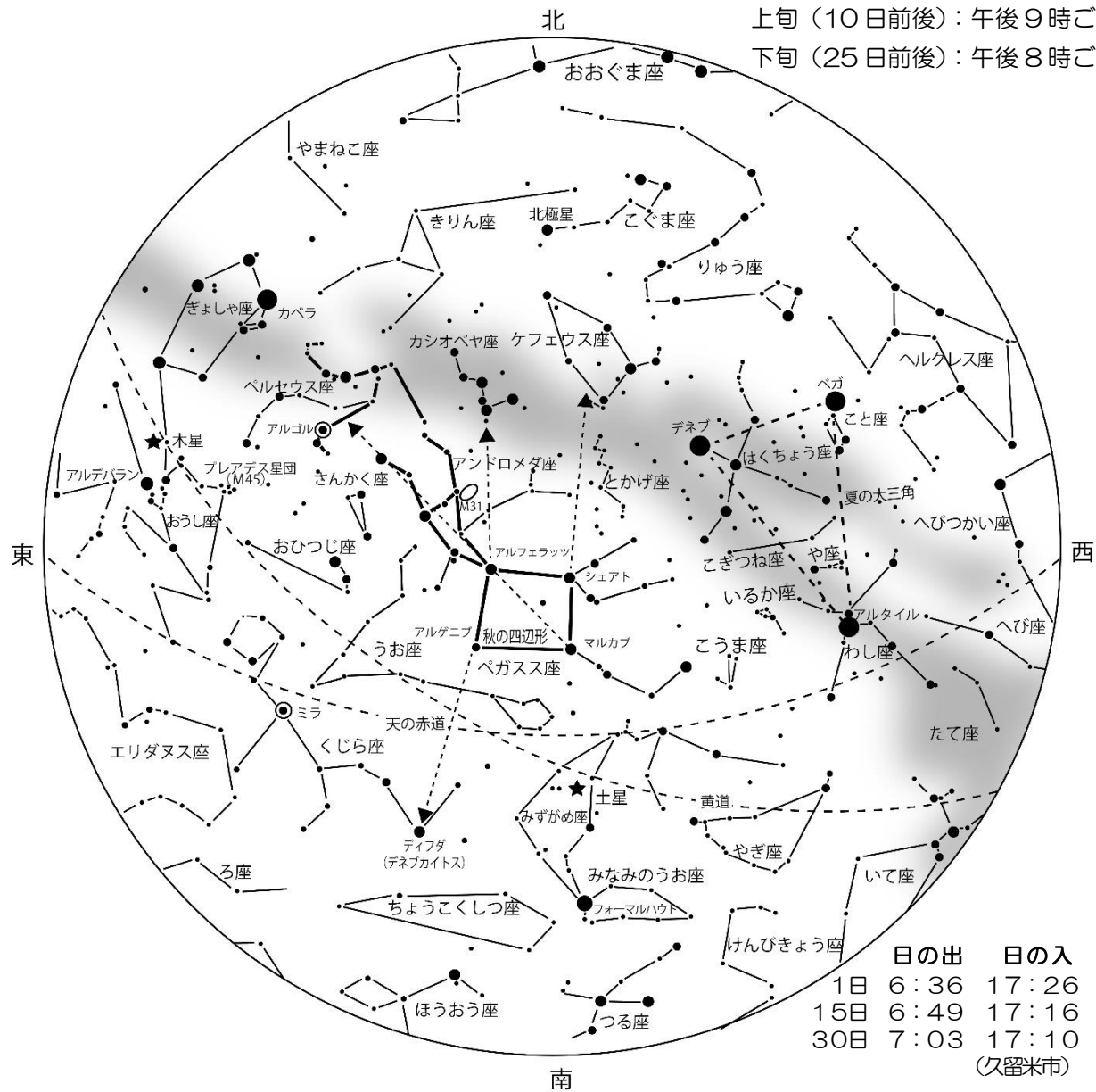


# 令和6年 11月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



上旬 (10日前後) : 午後9時ごろ  
下旬 (25日前後) : 午後8時ごろ

## ★11月の星空案内

11月になると、日の入りの時刻も早くなり、夜の長さが感じられます。朝晩は冷え込みますが本格的な寒さではないので、星を見るにはよい季節です。秋の星空は、昔の人々が思い描いた古代エチオピア王家の物語に出てくる登場人物の星座で彩られています。

秋の星座を見つけるには、四角形の星の並びを目印にペガサス座を探すところから始めましょう。アルフェラッツ・シェアト・マルカブ・アルゲニブの4つの星で作る四角形の星の並びは『秋の四辺形』とも呼ばれ、秋の星座探しのよい案内役になります。アルフェラッツを頂点とした「A」の字の星の並びを目印に見つかるのは、古代エチオピア王家の姫であるアンドロメダ座。マルカブとシェアトを結んだ線を北の空高いところののばしていくと、細長い五角形の星の並びが見つかります。これが、アンドロメダ姫の父、ケフェウス座。ケフェウス座の東側を見ると、アルファベットの「W」の字のような星の並びが見つかります。これが、アンドロメダ姫の母、カシオペア座。また、アルフェラッツとアルゲニブを結んだ線を地平線の方へのばしていくと、2等星ディフダが見つかります。ここには古代エチオピア王国を襲った海の怪物、くじら座があります。アンドロメダ姫の足元には、「人」の形の星の並びを目印に、勇者のペルセウス座が見つかります。

神話の世界に浸りながら、秋の星座さがしを楽しんでみてはいかがでしょうか。

### 【見ごろの惑星】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

水星 (-0.3等前後)	: てんびん座→さそり座	観望に適さない。
☆金星 (-4.1等前後)	: へびつかい座→いて座	日の入り後、南西の低空で輝く。
☆火星 (-0.2等前後)	: かに座付近	真夜中、東の空から昇る。
☆木星 (-2.8等前後)	: おうし座付近	真夜中、東から南の空高くで輝く。
☆土星 (0.9等前後)	: みずがめ座付近	真夜中、南から南西の空で輝く。

### 注目の天文現象(11月) ~冬のダイヤモンド付近の月・木星・火星を観察しよう~

6つの1等星が形づくる「冬のダイヤモンド」。この中を11月17日から20日にかけて月が通過し、木星と火星に順番に接近します。

17日、金星が西の空に沈む19時頃、東の空には満月を1日過ぎてわずかに欠けた月(月齢16.1)と、-2.8等の木星が昇ってきます。月と木星は、夜が明けるまでずっとそばに見えています。一番接近するのは20時頃ですが、高度が低くて見えにくいかもしれません。惑星の中で二番目に明るい木星。まぶしい月と並んでもその存在感を失わずにいられるのは、太陽系で一番大きな惑星ならではの貴族と言えるでしょう。

20日の夜遅くには、東の空で下弦の月に向かって欠けつつある月の近くに-0.3等の火星が見えます。この後、日付が変わって21日の夜明けまで月と火星が少しずつ距離を縮めながら動いていきます。ぜひ観察してみてくださいはいかがでしょうか。

日の出	日の入
1日 6:36	17:26
15日 6:49	17:16
30日 7:03	17:10

(久留米市)

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
1	金	● 新月 (21:47)	16	土	○ 満月 (06:29)
7	木	立冬	23	火	☾ 下弦 (10:28)
9	土	☾ 上弦 (14:55)			